

都市再生整備計画(第5回変更)

柿田川周辺地区

静岡県 清水町

令和2年9月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業	☒
まちなかウォークアブル推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	静岡県	市町村名	清水町	地区名	柿田川周辺地区	面積	77.7	ha
計画期間	平成28年度～令和2年度	交付期間	平成28年度～令和2年度					

目標
大目標：自然と都市機能が共生する暮らし満足度日本一を目指し、暮らしやすく訪れたいくなるまちづくり 目標1：恵まれた自然を保全しつつ、観光資源として活用し、交流人口が増加する環境整備の推進。 目標2：身近な地域で誰もが参加できる学習機会を提供するとともに、そこに集まる人々が相談や交流することで活力あるまちづくりを推進する。 目標3：高齢化社会への対応及び子育て環境の充実など誰もが暮らしやすく、地域内を歩いて暮らせることができるまちづくりを推進など安全で快適な生活の実現を図る。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ・清水町は、静岡県東部地域の中心都市である沼津市と三島市の間に位置し、地形的に平坦地が連続し、国道1号をはじめとする交通利便性も高かったため、両市の市街地の拡大によって住宅地としての市街化が進んできた。 ・町の中央には、国道1号沿いから湧き出した日本一の湧水量を誇る柿田川が流れており、環境省の名水100選にも選ばれて日量100万トンの湧水が流れている。また、柿田川は緑豊かな自然環境が残っており、本町を象徴するシンボルとなっている。 ・清水町第4次総合計画では、「笑顔があふれ こちよく 住み続けたいなるまち・清水町」を将来都市像とし、町の自然、歴史、文化等に根ざしながら地域学習、文化活動、スポーツ・レクリエーション活動等を通して、お互いが学び、高めあうことにより、町民一人ひとりの多様な個性を伸ばし、誰もが清水町に生まれ、ふるさととして育ったことを喜び、ゆとりと快適さに心地よさがあるまちづくりを進めている。 【まちづくりの方針】 ・本町の東部地区は、北部地域の商業機能などとのアクセス向上と、新たな都市的空間を創造する可能性を検討しながら、地域交流の拠点となる施設の整備や沼津卸商社センターの活性化策の推進などにより、町の中心性を醸し出す魅力あるまちづくりを目指し、良好な住環境と柿田川や狩野川の親水空間などの自然環境を保全・活用するとともに、快適な歩行空間の確保と交通アクセス網の改善を図りつつ、地域町民の生活の利便性を高めるまちづくりを目指している。 ・当地区は柿田川を中心に緑の拠点となる丸池、総合運動公園、柿田川公園をネットワーク化し、環境保全を図るとともに地域住民と観光客との交流の場を提供する。また、図書館と保健センターの老朽化が著しく、機能性・利便性を向上させるために、住民の交流拠点である地域交流センターの隣接地に合築で整備し、学習の機会や地域住民の相談や交流の場を提供する。
課題 ・町民の学習拠点となる図書館と保健・相談業務を行う保健センターは建築後30年以上が経過し、老朽化が著しく修繕費が経常的にかかる。また、機能性・利便性の向上が求められており、町民が学習や相談する拠点施設整備による地域交流の活性化が必要である。 ・多くの町民、観光客が集まる柿田川公園の整備による自然環境に配慮した水辺空間の保全・創出が必要である。 ・要援護者が安心した生活が出来るように支援体制を整えた施設を整備する。 ・少子高齢化の急激な進行により、歩行者優先の考え方に立った安全で快適な道路環境の整備が必要である。
将来ビジョン(中長期) ・第2次都市計画マスタープランにおいて「将来都市構造」として、多様化する町民の学習意欲や地域を担う人材育成等に応えるための施設整備や安心して暮らせる環境整備を進めていくこととしている。 また、柿田川周辺地区まちづくり(水の駅)構想において、地域交流センターは図書館周辺として位置付けられており、柿田川公園、図書館、地域交流センターとのネットワークづくりを進めることとしている。 ・第4次総合計画の基本目標である「安全で安心して暮らせるまち」において、歩行者や運転者の安全を向上させるとともに、災害や犯罪に対する備えが十分で安心して暮らせるまちを目指すこととしている。また、「人がふれあい快適で住みよいまち」において、町民がコミュニティやまちづくりに積極的に参加できる仕組みを作るほか、公園や下水道等を整備することにより、世代や居住する地区を答えた交流を促進するとともに、快適な住環境に恵まれた町を目指すこととしている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
柿田川公園利用駐車台数	台/年	柿田川公園駐車場に駐車台数	地域住民と観光客との交流拠点施設を整備し交流人口を増やす。	45,731	H27	58,000	R2
図書館・保健センター利用者数	人/年	図書館・保健センター利用者数	町民の学習や相談や交流する施設整備するとともに隣接する地域交流センターや柿田川公園との連携を深め、地域活動を活性化する。	33,730	H27	45,000	R2
公共施設のバリアフリー化率	%	バリアフリー化された公共施設の割合	施設のバリアフリー化を進めることにより安全で快適な生活環境を整備する	66	H27	87	R2

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
計画区域の整備方針	整備方針1(自然の保全と観光交流の促進) ・丸池周辺整備から総合運動公園、柿田川公園や柿田川展望公園にかけての連携した公園整備を行う。	■基幹事業 ・公園:柿田川公園 ・公園:丸池周辺公園 ・公園:総合運動公園
	整備方針2(生涯学習、地域交流の促進) ・保健センターと図書館を地域交流センターの隣接地へ整備し、地域住民の交流や学習の支援を図る。	□提案事業 ・地域創造支援事業:町図書館 ・地域創造支援事業:町保健センター
	整備方針3(安全で快適な生活の実現) ・丸池周辺整備から総合運動公園、柿田川公園にかけての安全で快適な遊歩道及び車道の整備する。 ・災害発生時における要援護者が安心した生活がおくれるように支援体制を整えた施設を整備する。	■基幹事業 ・道路:町道22号線 ・道路:町道126号線 ・道路:町道201号線 ・道路:町道125号線 ・道路:町道757号線 ・道路:町道206号線 ・地域生活基盤施設(地域防災施設):福祉センター大規模改修 ・高質空間形成施設:町道737号線
その他		
○事業終了後の継続的なまちづくり活動 ・図書館・保健センターにおける読み聞かせなどの町民活動については、ボランティアなど、町民との協働によりニーズに適応した事業提供をする。		

様式(1)-④-2

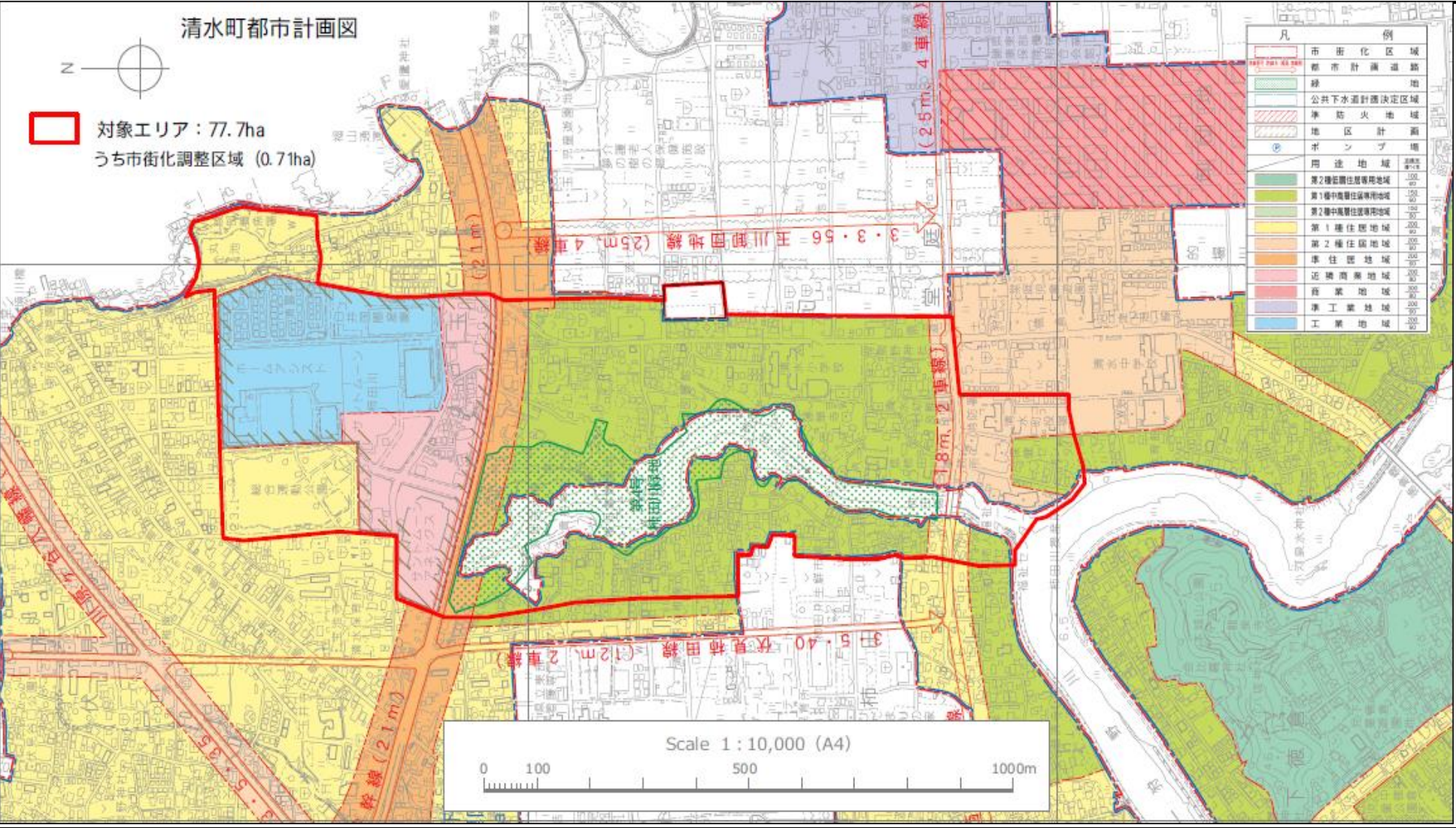
(金額の単位は百万円)

統合したB/Cを記入してください

合計(A+B)	1,677
---------	-------

00

柿田川周辺地区(静岡県清水町)	面積	77.7 ha	区域	清水町玉川、伏見、八幡、柿田、堂庭の一部
-----------------	----	---------	----	----------------------



柿田川周辺地区(静岡県清水町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	自然と都市機能が共生する暮らし満足度日本一を目指し暮らしやすく訪れたくなるまちづくり	代表的な指標	柿田川公園利用駐車台数 (台/年)	45,731 (H26年度) → 58,000 (R2年度)
			図書館・保健センター利用者数 (人/年)	33,730 (H26年度) → 45,000 (R2年度)
			公共施設のバリアフリー化 (%)	66 (H26年度) → 87 (R2年度)

